



# 善正寺だより

〒:512-0902  
 三重県四日市市  
 小杉町1014  
 浄土真宗  
 本願寺派  
 善正寺  
 ☎:059-331-1670  
 fax:059-332-0733

## 掲示板法話

### 命短くなる時代 み教えに会い

#### 無量寿のいのちを賜る道を歩む

今年も暑さ厳しい八月が巡ってきました。八月になると必ず思い出す日。勿論、六日の広島原爆投下の日、九日の長崎原爆投下の日、そして十五日が終戦記念日ですね。

あの悲惨な年から今年で七十四年。

「二度と戦禍を繰り返してはならない」「平和が大事だ」ということをどれほど繰り返しても世界中に紛争や血なまぐさい争いやテロが絶えず、核兵器の開発競争は止まるところを知りません。大きな世界の対立や思惑はともかく差し置くとしても、家族の間や学校の子供同士の殺傷事件など相次いでいるのは本当に痛ましい限り。

お釈迦さまが「仏説阿彌陀經」の終りの方で「五濁」の世に感う我らに十方世界の諸仏がたが唯念仏の救いを勤めて下さっていることを思い起こします。五濁とは劫濁(時代の汚れ)、見濁(思想の乱れ)、煩惱濁(貪欲、瞋恚、愚痴等の煩惱が盛んになること)、衆生濁(衆生の資質が低下して悪業がはびこること)、命濁(衆生の寿命が短くなること)の五つです。長寿時代というのに、命が短くなる



なんて変なことを？と訝る向きもあるでしょうが、心身が怒り、腹立ち、愚かさのために不健康な生活に墮すことにより、本来賜った寿命を生き切れず、互いに命の灯をかき消すようなことは命濁そのものです。

「人生は長さだけではない。幅もあり、深さもある」(金子大栄師)と言われます。命は時間的に長い短いかというだけではない。お念仏の智慧に遇えば日々出会う縁に意味を発見して、心豊かに輝いて生かされる人生だと気づかされます。

「死んだら終わり」という利根的な行き止まりの人生でなく、お浄土に仏と生まれ往くかけがえなき白道だと目覚めを賜るのです。

「白道を歩いていく お母さんや兄ちゃんたちの やるせなき愛情を総身に浴びて 白道を歩いていく

いつかその道が尽きたとき そこにお浄土が開かれている おお苦勞だったと仏さまが抱き取って下さる う もうその時は仏の一員 そこで本当に大切なことを 思い切りさせていただくのだ」(長崎県・竹下昭寿

さん、三十三歳。

仏縁深き家族と主治医の先生の導きで、最期にこんな詩を残して人生を終えられた竹下さんは、人生の幅広さと奥深さを知り、無量寿のいのちの世界に生まれて往かれました。そして、お浄土から還相回向の菩薩として「本当に大切なことを思い切りさせて頂く」活動体のいのちとなって働き続けるのだ、と信心の詩を残されたのです。まもなく盂蘭盆会が巡ってきます。五濁悪世のためにこそ、懐かしき諸仏となったあの人やこの人たちが我々の下にお念仏となって還ってきて下さることを喜ばして頂きましょう。

## ☆行事ご案内☆

◇秋季永代経法要 講師:足利孝之先生(尼崎・安養寺)

8月17日(土)・18日(日) 午後1時半

(両日共) ※但しお経開き招待者は17日(土) 午前10時半

◇盂蘭盆会(うらぼんえ)法要(第4回)



8月15日(木) 午前8時半 正信偈、焼香、住職法話、

ご位牌や遺影等飾らせて頂きます。地元の方や、納骨堂利用者有縁の方々ご家族でお参り下さい。1時間程で終了、冷茶接待

◇絵手紙教室 8月は休み 10月『百五銀行門徒展』作品募集

◇歌声喫茶 8月は休み、原則として第3木曜日午後1時

◇キッズサンガ 8月3日(土) 4時、鐘撞きは毎日夕方5時

※門信徒会費巡回、裏面記載、ご協力よろしくお願ひします!

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索。1年分寺報閲覧 毎日更新ブログ「住職と坊守のつれづれ日記」大好評 開設11年で29万8千訪問。悩み相談大歓迎、即返信します。

◇一縁会テレホン法話 ☎059-354-1454お電話下さい

3分間で三重組5か寺の住職、坊守、若院らの法話が週替りで行われます。

◇新納骨堂:後継者の無い方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事場所でお困りの方:本堂使用可。寺にご相談下さい。



写真アラカルト  
ジイちゃんのお膝大好き 孫も垂坂山の猫も



45回目の絵手紙教室



四日市高齢者作品展



お念仏ガールズ滋賀の別院に集結

### 坊守スケッチ

## 一体誰のおかげ?



あなたは「もし私が居なかったら、この家は回って行くのかしら?」と思われたことはありませんか? 私自身もそう思ったことが度々あります。毎日新聞『女の気持ち』に、49歳女性が「私の家出」と題して投稿しました。「結婚17年目して初めて家出して実家に帰った。原因は家族の些細な一言。長年専業主婦だった私がパートに出た。家事と育児と目の回る毎日。『母さんのパートって遊びみたいなものですよ。行くのは構わないけれど、家族に迷惑がかからないようにしてよ』。その度に傷つき疲弊して家出。飛び出してスーツとしたのは一瞬で、すぐに家のごと気になりだした。子供の弁当、学校の勉強、夫が仕事帰りに閉店間際のスーパーで買い物して食料を調達。胸が痛くなってすぐに帰りたい心境になったが、今更引くに引けない。あれほど不満でいっぱいだったけれども、毎日普通に家族の世話ができるのは、何て平和で幸せなことだろうと気付いた。翌々日夫が迎えに来た。家に戻ったが、この優しい幸せな気分も長くは続かず、また以前のように『忙しい。自分のことは自分でしてよね』とブツブツ言う母親に戻りつつある。働く主婦ならば誰しも同じような思いをされたことでしょう。でも自分の生き方を客観的に見られる人は救

いようがあります。中には自分は決して悪くない。全部相手が悪いと思ひ込む人が殆どです。益々負のスパイラルに落ち込み、お互いに傷つけ合います。もし自分を映し出す『心の鏡』があれば、不幸の原因は自分の側にもあると気付かせて頂き、先ず自分が変わることで、解決の糸口を見出します。独りよがりな曇ったままの『鏡』では、真実の姿は映りません。仏様のお話を何度も聞くことで、鏡は磨かれます。心の鏡を持てば「一体誰のおかげで」と言う前に、「皆さんのおかげで今日も無事に過ごせました」と、先ず相手に感謝の言葉が発せられるようになります。

#### お悔み申し上げます

森田重馬様(84歳・桜台) 6月30日往生 合掌

#### カンパありがとうございます

柴田美津代様・KA様・SM様、他匿名様より感謝。

#### 寄稿

風薫る運動場は家族の輪 釋妙水

熱中症の中運動会は短縮す

梅雨雷雨院内騒然赤子泣く

夏蝶や隣の畑潜り抜け

梅雨最中ローカルバスは客二人

七夕竹風に吹かるる願い事 釋清風

梅雨晴れや鈴鹿山雲影り深し

贈られし日傘開きてぞ屋下がり

### ☆若院夫婦の「育自な日記」56

六月中旬、友人の挙式・披露宴に参列しました。その友人とは、音楽家のR・Iさんです。何度か善正寺のファミリーコンサートや750回大遠忌法要にもお招きしているのです。彼女の美しい歌声を覚えていた方もいらっしゃるでしょう。

彼女と私は中学からお付き合いいで、高校では混声合唱部で共に活動していました。今は生活介護施設でお仕事する傍ら、三重オペラ協会や女声合唱団などで活躍されています。

晴れ姿を見に集まった中高同級生は「いつメン」の九人! (いつメンIIいつものメンバー) 思いつ話に花が咲き、仕事や子育てなどの近況報告など、喋り出すと止まらない女子会トークはいくつになっても変わりません。

披露宴は彼女らしく、合唱あり、演奏あり、独唱ありの音楽に溢れた和やかなものでした。顔が筋肉痛になるのではというくらい、新婦も新郎も常に笑顔だったのが印象的です。素敵なお福分けをいただきました。

この日、式場の外は台風のような大荒れの天気。私の帰宅を待ちわびる長男がいろいろと心配していたそうです。待つてくれている人がいる喜びを感じた夜でした。(若坊守)



孫の肩たたき ジイチヤン「お疲れ様」

### お知らせ

◇令和元年度の門信徒会費のご依頼に次の予定で巡回します。訪問予定日は葉書でお知らせしてありますが、ご都合の悪い方はご連絡下さい。

※8月2(金)・3(土) 夕方4時から四日市市街、菰野(住職と行事長)

※8月3(土) 朝、近隣住宅(住職)

※8月4(日) 朝、近隣住宅(総代)

※7月下旬から8月上旬在所(行事)

☆一縁会テレホン法話。8/5(月)より11日(日)まで善正寺住職担当。

059-354-1454お電話を!

平成31年度・善正寺主な行事案内

☆五福盆会法要8月15日朝8時半

☆秋季永代経(8月17日・18日) 両日共午後、尼崎市 足利孝之先生

☆小杉町仏教会追悼法要9月22日(日) 午前10時・午後1時・相愛大学教授・NHK『シブ5時お悩み相談』

出演中の釈徹宗先生(初)

☆報恩講11月2日(土) 午前と夜

3日(日) 午前のみ。但し2日11時より正午お非時接待あります。(講師)

京都るんびに園理事長・藤大慶先生

☆秋勧進11月23日午前8時

☆お内仏報恩講12/7午前10時半

### ☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第三〇八号をお届けします。◇梅雨明けと共に、厳しい暑さが続き、残暑もまた厳しく長い近年、どうぞ、生かされる命に感謝し、ご自愛の上お過ごしください。◇「一杯の水も仏の涙かな」(種田山頭火)。合掌。

高齢者ドライバーの交通事故が目立つようになってきました。ブレイクとアクセルの踏み間違えや高速道路の進走等、長年運転に慣れている人でも予期しない事故を起こします。今月私も古希を迎え高齢者講習を受けました。住職と私は「まだ当分免許証は返上したくない心境。早く自動運転の車が開発され、安価で販売されてそれに乗れることを夢見ています。現在人生百年時代の老後を如何に生きるかが、シルバー世代の大きな課題です。年金だけでは、晩年2千万円不足すると試算されて、誰しも狼狽えています。七夕の笹飾りの短冊に「PPKで逝きたい」と書いてありました。要するに「ピンピンコロリと死にたい」という意味です。しかし世の中自分の願い通りにいかないのが常です。思わぬ病気で不自由な体になったり、災害や事故に遭い、全財産を失ったり、大切な家族を亡くしたり、予期せぬ苦悩の連続です。しかし不幸の原因を「何で自分だけこんな目に遭うのか」と、他人の所為や恨むことに費す人と、「これも私が背負うべき業縁。お慈悲を喜ぶ事ができるといふように受け止める人の二通りがあります。後者はどんな苦難からも逃げずに立ち上がり、前向きに人生を歩み続けます。その人達にはお念仏こそが心の支えです。8月は盂蘭盆会法要(8/15)と永代経法要(8/17・18)が続きます。ご先祖の願いとお念仏のおいわれを聞いて、あなたの人生の糧にいたしましょう。皆縁の心参詣をお待ちしています。合掌

令和元年八月

善正寺方守 拝